

# みつけ通信

珠洲市立宝立小中学校だより  
令和3年8月号



〒927-1222  
珠洲市宝立町鶴飼丑部 83 番地  
TEL 0768 (84) 1106・(84) 1119

## 生きる力を育むノート ～太田あや先生講演より～

校長 濱野 裕之

「どうしてノートは大切なのだと思いますか？」という質問から講演が始まりました。太田あや先生をお招きし、3～9年生に「ノートづくり講演会」を行いました。太田先生は「東大合格生のノートは必ず美しい」という著書で一躍有名になった先生で、何と貞弘教頭先生の教え子でもあります。そうした縁で講演をお願いし、快く引き受けていただきました。

太田先生は右の3つの理由を示されました。③の生きる力を身につけるとは、どうするのか、私自身の長年の課題でもあり、聞き漏らすまいと、身を乗り出しました。

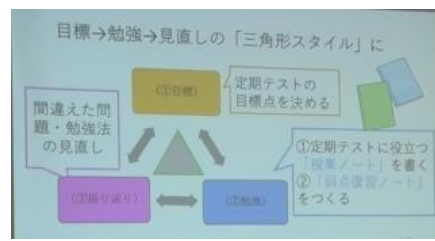
### 【ノートが大切な理由】

- ①ノートは第2の脳だから。
- ②試験で実力を発揮するため。
- ③生きる力を身につけるため。

### 【生きる力をつけるために→自ら学ぶ力をつけるノート】

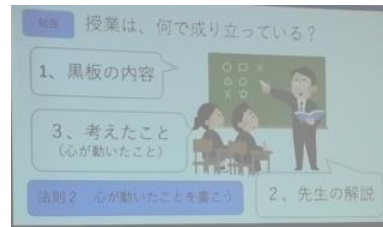
#### ○勉強法を三角スタイルに変える。

- ①目標を決める（テストの目標点を決める）
- ②勉強する。（授業ノートと弱点克服ノートをつくる）
- ③振り返る。（間違えた問題とノートの見直し）



①は目標がないと何となくの勉強になり「黒板に書かれたこと」を写すだけになりがちになりますが、目標を決めることでノートに何をどう書けばよいのかが明確になります。

②は再現できるノートづくりをします。「黒板の内容」「先生の解説」「考えたこと」の3つをパズルのピースを組み立てるように関連付けて書きます。特に大事なものは、「弱点克服ノート」です。太田先生は、「成績をあげる方法は1つしかありません。それは、できない問題をできるようにすることです。」といわれました。間違えた問題を「覚えてない」「理解できてない」「読み間違い」の3つに分け、対策ノートをつくることで、間違えた問題をできるようにします。そして、テスト結果を基にノートの作り方、使い方を振り返り、改善していきます。この三角スタイルの勉強法により2つの力が身に付きます。



- ①逆算力（目的達成のため、いつ何をすべきかがわかる力）
- ②律する力（目標達成のためにやると決めたことをあきらめない力）

これが、生きる力を育むための秘訣だったのです。教育の最終目標は教えることではありません。自らの力で学んでいける力をつけることです。つまり自立することなのです。太田先生は、その方法を明確に示してくれました。この学びを児童生徒とともに教職員も共有することで、子どもたちの生きる力、自ら学ぶ力をつけていきたいと思ひます。

## 8月の主な行事予定 ※スペースの都合上、ごく一部の紹介になります。

日（曜）		学校・PTA・地域行事等
2	月	安全点検
3	火	PTA理事会・役員会
4	水	校内研修会・教職員対象避難訓練（不審者侵入）
6	金	全校登校日 運動会オリエンテーション
9	月	山の日
10	火	学校閉庁日（～16日）
15	日	宝立地区合同ラジオ体操（見附海岸）
25	水	職員会議
26	木	1～6年登校日
29	日	親子早朝学校環境整備作業
30	月	4～6年登校日



学校閉庁日 8月10日（火）～16日（月） 教職員は学校におりません。御用のある方は市教育委員会までご連絡ください。（82-7816）

### ◇不審者避難訓練 全校児童生徒

6月24日（木）、珠洲警察署より2名の職員に来ていただき、不審者避難訓練を行いました。子どもたちは、大きい声で何度も「助けて」と叫ぶことの大切さを学びました。自分の命を守るために、今日学んだことをしっかり振り返り、いざという時には大きな声で助けを求められるようになってほしいと思ひます。



### ◇ノート講習会 3～9年生

6月25日（金）、輪島市出身で「東大合格生のノートは、必ず美しい」の著者である太田あやさんによるノート講習会を行いました。児童・生徒・職員は良いノートの書き方の法則を学ぶことができました。

講習会の最後には、児童・生徒全員で、これから自分は何を心がけてノートづくりを行うかを宣言する「ノート宣言」を掲げて、今日の学びを確認し合いました。



## 地域のありがたさを感じております！

6月に物産接骨院様より除菌スプレーをいただきました。役立てさせていただいています。宝立小中や上戸小の菜園で採れた野菜や地域の方からもたくさん野菜をいただき、給食でおいしくいただきました。ありがとうございます！





## ◇文化芸術による子供総合育成事業ワークショップ 全校児童生徒

6月28日(月)、9月に行われる「文化芸術による子供育成事業巡回公演」の事前ワークショップが行われました。

今年は、東京混声合唱団の皆さんの歌声を楽しむことになっています。校歌や「Believe」の練習を行う中で、「歌のプロ」から具体的なアドバイスをもらい、児童・生徒の合唱はより素晴らしいものになりました。



今回のワークショップを通して、一緒に歌うことの素晴らしさが合唱にはあることを児童・生徒は学ぶことができました。本公演は9月13日(月)です。合唱の奥深さや楽しさを生(ライブ)を通じて感じる事ができる貴重な日になりそうです。



## ◇いじめ撲滅集会 後期課程(7~9年生)

6月29日(火)、いじめ撲滅集会を行いました。「いじめが起きやすい学校」と「いじめが起きにくい学校」について、グループで意見を交換し合いながら、自分たちでどんな行動を心がけたら、いじめの起きにくい学校にすることができるのかを考えました。



最後には、一人ひとりがいじめをなくすためにこれからどのように行動をしていくかを、「行動宣言」としてみんなの前で発表しました。



## ◇親子見附海岸ボランティア清掃活動 全校児童生徒&PTA

7月3日(土)、親子で見附海岸のボランティア清掃活動に取り組みました。宝立町、能登半島のシンボルである見附海岸をきれいにすることができました。ボランティア精神を学ぶとともに、ゴミの種類や量について知り、私たちの周辺環境の現状を学ぶことができました。

清掃活動の後は、6年生や保護者の方を中心に、AED講習会も実施しました。消防署の方に習いながら、練習をしました。早朝から参加、ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。



## ◇七夕集会 前期ブロック(1~4年)



7月7日(水)、前期ブロックで七夕集会を行いました。進行は4年生。司会原稿を自分たちで作り、原稿を見ずにはきはきと大きな声でできました。読み聞かせでは、登場人物の声の調子を工夫して、朗読劇を上手に演じていました。3択クイズをしたり、七夕についてのお話を聞いたりしました。最後に、縦割り班ごとの笹に願い事の短冊や飾りをつけ、「たなばたさま」を歌いました。

主体的に活動している児童の姿に、1学期におけるそれぞれの着実な成長を感じとることができました。



## ◇海水浴 前期課程(1~6年)



7月13日(火)、予定日より1日遅れましたが、見附海岸海水浴場で海水浴を行いました。1~6年生が海に入り、今年最初の海を楽しみました。念願の海水浴でした。

珠洲のシンボル、見附島(軍艦島)が見えるきれいな海で泳げる幸せを感じました。



## ◇薬物乱用防止教室 後期課程(7~9年)



7月13日(火)、石川県能登北部保健福祉センターより谷崎俊允さんに来ていただき、薬物乱用防止教室を行いました。薬物、タバコ、お酒の3つの体に与える影響について、画像などを用いて、大変わかりやすく教えていただきました。『乱用』とは、「ルールや法律からはずれたやり方で、めちゃくちゃに使うこと」という言葉が印象的でした。保護者の参加もあり、とても有意義な会になりました。



## ◇夏の英語スピーチフェスティバル (5~9年)



7月15日(木)、昨年に引き続き6~9年生が、それぞれのテーマで、英語でスピーチをしました。緊張しながらも堂々と発表することができました。それぞれ一生懸命伝えようとする姿勢がみられました。見学をしていた5年生は、11月に予定されている秋のフェスティバルでは自分たちも頑張りたいという感想をもっていました。

この日は、ALTサラ先生の勤務最終日でした。この2年間、毎週木曜日は、サラ先生のおかげで楽しく英語を学習することができました。本当に感謝しています。アメリカに帰国してからのご活躍をお祈りしています。

